

特集

「看護研究」の教育で
未来の「実践力」を鍛える「看護研究」教育が基礎教育で果たす役割 坂下玲子
基礎教育で育てたい3つの力(大学での教育実践)

小野博史・坂下玲子

全学年を通じた研究の取り組み(専門学校での教育実践)

佐野千冬

ケーススタディの教育方法(専門学校での教育実践)

三島真由美

看護実践を研究として取り組むことの大切さ 中村清子

臨床現場での「看護研究」を推進する困難さと障壁 吉田多紀

研究を教えるための文献取り扱い講座 佐渡島紗織

【特別寄稿】

日本協同教育学会第12回大会への招待 安永悟

【連載】

- 学びのヒントをもつ私 学生は「経験」の宝庫・3 文倉志信
- アジア、アフリカ、ラテンアメリカの看護教育はいま・6 森山ますみ
- 授業研究で変わる! 授業研究で変える!・9 吉崎静夫/蔵谷範子
- 宮子あずさのエキサイティング Writing・9 宮子あずさ
- 卒業前の看護実践能力育成への取り組み・13(最終回) 曾田陽子
- “医療安全力”を育むリスクアセスメントトレーニング・17 齊藤奈緒美/石川雅彦

編集後記

●グループワークは、今の看護教育になくはならないものになっています。それは、学生たちにさせるだけでなく、学会や研究会などで先生方自身が行う機会が多いからでもあります。私たち雑誌編集者が見る機会が多いのは、圧倒的に後者。そして、今回の特集の必要性を感じたのも後者の実情を見せていただいたからです。●小学校では頻繁に行われていた「話し合い」が中学・高校と進むにつれ少なくなり、専門学校や大学に入学するといきなり増えてとまどう。このような体験は、先生方自身が生きてきたはず。大抵はそこで経験したことを大人になってもそのままやっていると思いますが、教える立場にある人がそうでは困ります。きちんと学べば、グループワークの効果は確実に上がります。何より教員も学生も気持ちの良い時間を過ごせます。実はこれがいちばん大事かもしれません。……大野

●小誌エッセイへのご投稿いただいた皆様、力作をありがとうございました。今年から教員のエッセイも募集しましたが、いかがでしたか。読者の皆様も、好きなエッセイに出会えたか。最近読んだ本では、岸政彦の「断片的なものの社会学」がとても好きなエッセイでした。本業は社会学の先生なので、普段からマイノリティの方などにインタビューを重ねて1つの論理を組み立てる仕事をされているのですが、この本は、そういう「学説」に「分析できない」けれど、どうしても忘れられない人々の語りや風景を集めたものです。編集をしていますが、つい、書いてほしいこと、こちらが載せたいと思っていることばかりに気を取られて、もっと豊かなものを削いでしまっている怖さがあります。池西先生が対談のなかで仰っていた「学生を信じて待つ」という姿勢にも、つながってくるように感じています。……番匠

◎編集室ツイッター

<http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

看護教育 第56巻 第8号 2015年8月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2015, Printed in Japan

(1部) 定価: 本体2,200円+税

2015年・年間購読料(増大号を含む12冊): 冊子版15,540円, 冊子+電子版/個人18,540円, 冊子+電子版/共有20,880円, 電子版/個人15,540円, 電子版/共有17,880円(いずれも+税, 送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当: 番匠・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/15/紙: ¥500/電子: ¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

『看護教育』 バックナンバーのご案内

(1部) 定価：本体 1,500 円＋税
年間購読 好評受付中！
電子版もお選びいただけます。

Vol.56 No.7

2015 年 7 月

特集

看護過程再考

1980 年代以降、日本でも多くの看護理論家、臨床家が、看護を科学的に基礎づけるものとして、「看護過程」の考え方を発展、普及させてきました。実際、「看護過程」が看護実践の向上に果たしてきた役割は非常に大きいといえるでしょう。

同時に、看護基礎教育においても、多くの看護師養成校でカリキュラムに「看護過程」が設けられ、演習、実習も、看護過程をベースに実施され、大きな努力、時間が割かれている現状があります。

このような状況を受け、「看護過程」という思考の方法の教育が、看護教育の目的となってしまったという声も多く聞かれます。これは、「看護過程」を基礎教育に用いることのメリット／デメリットが十分に議論されないまま、形式的に導入されてしまった側面があるといえるのではないのでしょうか。今特集では、「看護過程」が基礎教育で重要視されてきた背景と問題点をもう一度整理し、基礎教育での「看護過程」の役割を再考するとともに、近年米国で「看護過程」に代わるものとして活用され始めた臨床判断モデルを紹介したいと思います。

■「看護過程」を教える意義と現状の課題—
「思考ツール」として観察の視点を養う
……………古橋洋子

■今にして看護過程を見定める……………小玉香津子

■「看護実践を学ぶ」ということ—実習における学生の経験を通して……………前川幸子

■看護過程と「臨床判断モデル」……………松谷美和子／三浦友理子／奥裕美

■臨床判断モデルを用いた教育実践について……………喜吉テオ紘子



Vol.56 No.6

2015 年 6 月

特集

「つまらない」授業よ、さらば！

「授業は学習の場。おもしろい、つまらないで計れるものではない」。もしそう思い込んでいる先生がいるとすれば、その方は「おもしろい」授業を受けたことがないのではないのでしょうか。たいていの人は、自ら学ばなければ、自分が受けた方法でしか教えることができません。ですので、「おもしろい」授業を行うには、「おもしろい」授業を受ける必要があると思います。ここで言う「おもしろい」は愉快という意味ではなく、興味を引く、すなわち英語で言うところの「interesting」と考えてください。

もちろん看護教育が専門教育である以上、初等教育とは違い、学生は自ら望んで学んでいることではない。だとしても、学習効果を上げるためには、一方的な講義だけでは不十分だということは、おわかりだと思います。では、いったいどうすればいいのか？

今回は、実際に授業を「おもしろく」している方々に、自らの経験をふまえたうえで、いかに学生の気持ちを引き出し、学習効果を上げるかについて、提言いただきます。実際の授業を見ていただくのがいちばんではあるのですが、誌面からさまざまな工夫を汲み取ってみてください。加えて、これをきっかけに、先生方がお互いに授業を見せ合ったり、方法について話し合ったりする機会が増えれば幸いです。

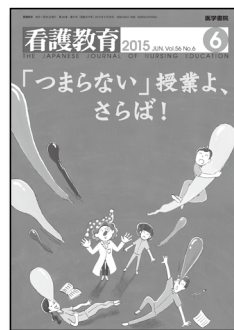
■看護の授業をおもしろくするには—「結びつき」が見えるようにデザインする
……………五十嵐ゆかり

■授業をプレゼンテーションに！—今日からできる授業改善のコツ……………内藤知佐子

■へたな授業は罪深い—「しかつめらしさ」と「プロフェッショナル」の混同をほぐす……………筒井美紀

■エンタテインメントに学ぶ授業づくり
看護教育編—メディアの手法を活かす……………藤川大祐

■【対談】おもしろい授業のために教員ができること……………水方智子／三浦真琴



【2015 年 5 月号 (Vol.56 No.5)】

「やってくる」事前課題を
つくろう！

【2015 年 2 月号 (Vol.56 No.2)】

IPE の達成とこれから
「地域で学ぶ」を中心に

【2015 年 4 月号 (Vol.56 No.4)】

本当に伸ばすための
コミュニケーション教育

【2015 年 1 月号 (Vol.56 No.1)】

看護教員の教育力を UP する！

【2015 年 3 月号 (Vol.56 No.3)】

コースポートフォリオで
授業改善！

【2014 年 12 月号 (Vol.55 No.12)】

理想的な「入学前学習」を
求めて

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2013 年 6 月号 (Vol. 54, No. 6) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.taobook.com/>)
- 2013 年 7 月号 (Vol. 54, No. 7) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。